

# 令和5年ラグビー部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養う
- (2) 競技大会等の目標  
東京都ベスト8
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
ラグビーを通じた近隣中学校やラグビースクールとの連携

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
週1～2日の休日を生徒の状況を見ながら設定  
ビデオなどを見て視覚に訴えることによる練習の効率化
- (2) 練習や試合等の計画  
生徒の状況を鑑みながら月2回は練習試合を行う
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識育成  
時間の厳守  
準備・片づけを全員でやることの徹底  
お互いの心を開く挨拶の徹底
- (4) 生徒相互の人間関係  
協調性、責任感の大切さを認識させる
- (5) 学習と部活動  
部活動後のだらだらした時間を無くし、メリハリのある生活習慣を身に着けさせる
- (6) 生徒相互の人間関係  
チームプレーを通じて、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
自己の健康管理を徹底させる。また、こまめな手洗いを行う。

## 3 指導内容・方法

種目の特性を鑑み、体幹トレーニング、ウェイトトレーニングや食事等への意識を高め、体づくりを優先させ、常に安全に留意しながら行う。またトレーニングに関しては外部指導員の協力のもとさらに質の高い内容を目指す。練習メニューに関しては生徒と密に連携を図りながら行う。練習中にビデオを活用し、即フィードバックできるよう工夫する。

#### 4 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	新入生の勧誘 春季大会東京都予選
	5	7人制大会東京都予選 部活動保護者会
	6	
	7	
	8	中学生向け体験練習会の開催
2 学期	9	全国大会東京都予選
	10	全国大会東京都予選 中学生向け練習体験会の開催
	11	多摩大会
	12	新人大会東京都予選
3 学期	1	新人大会東京都予選
	2	
	3	三年生を送る会・OB 総会 (OB 戦)

## 令和5年度 男子硬式テニス部の指導方針等について

### 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養う。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
高体連の大会をはじめ各種大会での予選突破を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域交流を積極的に図るため、地域への施設開放を行う。

### 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
生徒の自主的・自発的な参加を基本とする。活動日は平日4日、休日1日とし、練習時間は平日2時間程度、休日及び長期休業中は3時間程度を基本とし、合理的でかつ効率的・効果的な活動を短時間で集中して行う。
- (2) 休養日  
平日1日、休日1日の週当たり2日を休養日とする。また定期考査1週間前及び定期考査期間中は、公式戦日程等との重なりがある場合を除き休養期間とする。なお、日曜日に大会参加等で活動した場合は、基本的に月曜日を休養日に振り替える。
- (3) 活動場所  
テニスコート
- (4) 練習や試合等の計画  
競技力を高めるために、月に1～2回他校と練習試合を行う。また、部内戦を定期的に行う。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、本校の生徒として当たり前行動をとらせる。
- (6) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。
- (8) 熱中症防止対策  
適切に休憩をとらせ、こまめに水分・塩分補給させるとともに、体調の悪い時、湿度の高い時、急に暑くなった時などは無理をさせないように指導する。
- (9) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策  
日常の活動内での健康管理を継続的に行うとともに、体調不良の際は活動を見合わせるように指導する。

### 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰・暴言等のない適切な指導を行うことについて、顧問・外部指導員・生徒及

び保護者の中で共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

すべての生徒間で暴力による問題解決を図ることがないように、日頃から指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割分担について基本的な考えを示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達段階及び体力・健康・技能等の状況を把握した上で、段階的に適切な活動計画を立てる。

(5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

活動後の手指消毒を実施し、咳エチケットを継続する。部室を使用する場合は、十分換気を行い、滞在時間を短時間にとどめさせる。

4 大会等の主な記録 (令和4年度)

第62回東京都高等学校テニス選手権大会 (個人戦) ダブルス3回戦進出 2組

第62回東京都高等学校テニス選手権大会 (団体戦) 3回戦進出

第66回都立対抗テニス大会 (団体戦) 3回戦進出

5 今年度の主な参加予定大会

大会名	日程
① 東京都高等学校テニス選手権大会 (個人戦)	4月
② 東京都高等学校テニス選手権大会 (団体戦)	5月
③ 都立対抗テニス大会 (団体戦)	7月
④ 東京都高等学校新人テニス選手権大会 (個人戦)	9月
⑤ 東京都高等学校新人テニス大会 (団体戦)	11月
⑥ 東京都立高等学校テニス選手権大会 (個人戦)	12月

6 部員数

	男子	女子	合計
1年	4	0	4
2年	8	0	8
3年	2	0	2
合計	14	0	14

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	生徒会部活動紹介 テニス専門部総会（顧問:オンライン参加）  東京都高等学校テニス選手権大会（個人戦）	中間考査期間 5/15~5/24	1 2 日程度
	5	東京都高等学校テニス選手権大会（団体戦）	期末考査期間 6/26~7/5	
	7	都立対抗テニス大会（団体戦）	夏季休業	
	8	夏季休業中 練習及び練習試合	8/11~8/20	
2 学期	9	東京都高等学校新人テニス選手権大会（個人戦）	中間考査期間 10/12~10/23	1 4 日程度
	11	東京都高等学校新人テニス大会（団体戦）	期末考査期間 11/27~12/6	
	12	冬季休業中 練習及び練習試合  東京都立高等学校テニス選手権大会（個人戦）	年末年始 12/28~1/3	
3 学期	3	春季休業中 練習及び練習試合	学年末考査期間 2/26~3/6	9 日程度

令和5年4月21日

## 令和5年度 女子硬式テニス部の指導方針等について

### 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養う。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
高体連の大会をはじめ各種大会での予選突破を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域交流を積極的に図るため、地域への施設開放を行う。

### 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
生徒の自主的・自発的な参加を基本とする。活動日は平日3日、休日1日とし、練習時間は平日2時間程度、休日及び長期休業中は3時間程度を基本とし、合理的でかつ効率的・効果的な活動を短時間で集中して行う。
- (2) 休養日  
平日2日、休日1日の週当たり3日を休養日とする。また定期考査1週間前及び定期考査期間中は、公式戦日程等との重なりがある場合を除き休養期間とする。大会が日曜にあることが多いため、長期休業日や祝日等で振替とすることもある。
- (3) 活動場所  
テニスコート
- (4) 練習や試合等の計画  
競技力を高めるために、学期に1～2回他校と練習試合を行う。  
また、部内戦を定期的に行う。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、本校の生徒として当たり前の行動をとらせる。
- (6) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。
- (8) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策  
感染症対策ガイドラインに基づき、校内休日活動では練習開始時に検温結果を確認する。また校外活動や大会参加時には参加同意書兼健康管理チェックシートを当日持参させ記載内容を確認し、参加の可否を判断する。

### 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰・暴言等のない適切な指導を行うことについて、顧問・外部指導員・生徒及び保護者の間で共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
すべての生徒間で暴力による問題解決を図ることがないよう、日頃から指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割分担について基本的な考えを示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達段階及び体力・健康・技能等の状況を把握した上で、段階的に適切な活動計画を立てる。

(5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

咳エチケット、手指衛生に加え、「3密」を避ける身体的距離を確保し、できるだけ「ゼロ密」を目指す。「部活動での感染拡大を防止する習慣」＝「新しい日常」が定着した「新しい練習方法」を実践する。

#### 4 大会等の主な記録

令和3年度 新人戦シングルス 5回戦進出  
都立高テニス選手権大会 シングルス ベスト32  
都立高テニス選手権大会 ダブルス ベスト32  
第42回フジカップ シングルス ベスト8  
令和4年度 インターハイ予選シングルス 4回戦進出  
ダブルス 5回戦進出  
新人戦シングルス 4回戦進出  
新人戦ダブルス 5回戦進出  
都立高テニス選手権大会 シングルス ベスト16  
第43回フジカップ シングルス 優勝

#### 5 今年度の主な参加予定大会

大会名	日程
⑦ 東京都高等学校テニス選手権大会（個人戦）	4月
⑧ 東京都高等学校テニス選手権大会（団体戦）	5月
⑨ 都立対抗テニス大会（団体戦）	6月
⑩ 東京都高等学校新人テニス選手権大会（個人戦）	9月
⑪ 東京都高等学校新人テニス大会（団体戦）	11月
⑫ 東京都立高等学校テニス選手権大会（個人戦）	1月

#### 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	0	1	1
2年	0	4	4
3年	0	3	3
合計	0	8	8

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	生徒会部活動紹介 テニス専門部総会および指導者講習会 (オンライン) 東京都高等学校テニス選手権大会 (個人戦)	中間考査期間 5/15~5/24 期末考査期間 6/26~7/5	7 日程度
	5	東京都高等学校テニス選手権大会 (団体戦)		
	6	都立対抗テニス選手権大会 (団体戦)	夏季休業 8/11~8/17	
	8	夏季休業中 練習及び練習試合		
2 学期	9	東京都高等学校新人テニス選手権大会 (個人戦)	中間考査期間 10/12~10/23	8 日程度
	11	東京都高等学校新人テニス大会 (団体戦) 東京秋季庭球選手権大会 (団体戦)	期末考査期間 11/27~12/6	
	12	冬季休業中 練習及び練習試合	年末年始 12/23~1/8	
3 学期	1	東京都立高等学校テニス選手権大会 (個人戦)	学年末考査期間 2/26~3/6	3 日程度
	3	春季休業中 西東京庭球大会 (団体戦) 練習及び練習試合		



# 令和5年度男子バスケットボール部の指導方針等について

令和5年4月27日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協調の精神を養う部活動」を取り組み目標とする。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
東京都ベスト32を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域の中学生との合同練習試合や練習試合、体験入部を行う。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
練習は原則週に5日間とする。月・水曜日は体育館が使用できるので3時間程度の練習。火・金曜日は、2時間程度の練習。また体育館での練習だけでなく、ウエイトトレーニングも日々行う。
- (2) 休養日  
平日：木曜日 休日：土曜日または日曜日
- (3) 活動場所  
体育館及びトレーニング室で行う。
- (4) 練習や試合等の計画  
1週間に1回程度、モチベーションを持続させると共に、競技力を高めるために練習試合を行う。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んでリーダーシップが取れ他の生徒の模範となるようにする。
- (6) 生徒相互の人間関係  
チームプレーを通じて、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭や学校での学習時間を確保する。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
対外に出る場合及び公式戦時は、健康観察表及び保護者の同意書の提出を徹底する。また、こまめな手洗いをを行い、共用物は消毒を徹底して行う。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインを活用し、顧問・生徒・保護者の三者で体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
生徒間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
特になし。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

#### 4 新型コロナウイルス感染症防止対策

咳エチケット、手指消毒に加え、練習前後での手洗いうがいの徹底を図る。

#### 5 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった休養日	週休日の活動日数
1 学期	4	関東予選	中間考査期間	14 日程度
	5	保護者会 5/21 インターハイ予選		
	6	通常の練習および練習試合	期末考査期間	
	7	通常の練習および練習試合		
8	夏合宿(群馬県) 102 地区大会(府中大会)			
2 学期	9	通常の練習および練習試合	中間考査期間	16 日程度
	10	新人選支部予選		
	11	新人選支部予選	期末考査期間	
	12	通常の練習および練習試合		

3 学期	1	通常の練習および練習試合	入選期間	14 日程度
	2	通常の練習および練習試合	入選期間	
	3	通常の練習および練習試合	学年末考査期間	

# 令和5年度女子バスケットボール部の指導方針等について

令和5年4月25日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協調の精神を養う部活動」  
を取り組み目標とする。
- (2) 競技大会等の目標  
東京都高等学校体育連盟の公式戦で東京都ベスト16を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
コロナが終息したら、地域の中学生との合同練習や練習試合を行う。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
練習は原則週に5日間とする。火・木曜日は体育館が使用できるので  
2時間半程度の練習。水・金曜日は、1時間半程度の練習。
- (2) 休養日  
平日→月曜日 週休日→土曜日または日曜日
- (3) 活動場所  
体育館等
- (4) 練習や試合等の計画  
1週間に1回程度対外試合を行う
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行・時間を守る態度の育成・礼を重んじる態度・人の嫌がることにも  
率先して取り組む意識
- (6) 生徒相互の人間関係  
バスケットを通じて、協調性（他人を助け、反対意見を持つ人に耳を傾ける。）  
友情（お互いを尊敬し、献身的な態度をとる）を身につける。
- (7) 学習と部活動  
バスケットを通じて何事にも勤勉に取り組む態度を身に着け、そのことが学習に  
も生かされる。保護者会は年2回実施
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
移動の時はマスクを着用するよう指導し、対外に出る場合及び公式戦時は、健康観  
察表及び保護者の同意書の提出を徹底する。また、こまめな手洗いを行い、共用物  
は消毒を徹底して行う。アルコール洗浄液を部で購入。15分に1回程度手指の消  
毒を励行

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
指導者としてアンガーマネジメントの力を身に着ける。生徒自らが目的意識を持  
って練習に取り組むように支援する。「明るく・楽しい」練習を目指す。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
感情をコントロールする力、チームメイトに真心をつくして接する態度を身に着  
ける。

- (3) 外部指導員の活用  
なし
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画をたてる。
- (5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策  
咳エチケット、手指消毒に加え、「3密」を避ける身体的距離を確保する。また、練習前後での手洗いうがいの徹底や水筒持参など感染対策の徹底を図る。

#### 4 大会等の主な記録

令和2年度	Tokyo Thanks Match 3回戦進出 新人大会 4回戦進出 都ベスト 64 シード権獲得
令和3年度	関東大会予選 3回戦進出 インターハイ都予選 3回戦進出 新人大会 3回戦進出
令和4年度	夏季大会 Nブロック準優勝 新人大会 5回戦進出 都ベスト 32 シード権獲得

#### 5 今年度の参加予定大会

大会名	日付
① 関東予選	4月9日～5月5日
② インターハイ予選	5月14日～6月25日
③ 夏季大会	8月20日～23日
④ 新人大会	11月3日～令和6年1月21日

#### 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	0	4	4
2年	0	6	6
3年	0	1	1
合計	0	11	11

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	ま と ま っ た 休 養 日	週 休 日 の 活 動 日 数
1 学期	4	関東予選		6 日
	5	関東予選 インターハイ予選	中間考査期間 5/15~25	8 日
	6	インターハイ予選		
	7	保護者会 6/20 夏期合宿 (長野県)	期末考査期間 6/26~7/6	8 日
	8	夏季大会	8/11~16	6 日
2 学期	9	府中大会	なし	6 日
	10	都立研修大会	中間考査期間 10/12~24	8 日
	11	新人大会	期末考査期間 11/27~12/7	8 日
	12	全国高等学校バスケットボール選手権大会 (ウインターカップ) 補助役員	年末 12/28~31	5 日
3 学期	1	新人大会 保護者会②	年始 1/1~3 入選期間	7 日
	2	通常の練習および練習試合	入選期間	7 日
	3	春季休業中 強化練習ゲーム	学年末考査期 間 2/26~3/9	8 日

# 令和5年度男子バレーボール部の指導方針等について

令和5年 5月1日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
バレーボールの技術の向上はばかりでなく、社会貢献の精神や思いやりの心を育て、豊かな創造性と人間性を培う。
- (2) 競技大会等の目標  
関東大会出場を最大の目標として努力する。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
周辺の中学校バレー部との交流。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
火・金 2時間程度 土 3時間程度 水・木トレーニング 1～2時間
- (2) 休養日  
月・原則として日曜日、定期考査1週間前～考査期間中  
長期休業中 週当たり2日
- (3) 活動場所  
体育館、校外、トレーニングルーム
- (4) 練習や試合等の計画  
週休日を中心に計画
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶を励行し、人の話をきちんと聞ける態度を養う。
- (6) 生徒相互の人間関係  
チームとして競技を行うため、普段の生活でも協調性や責任感を育成する。
- (7) 学習と部活動  
考査前に活動は休止し、テスト勉強に集中させる。
- (8) 新型コロナウイルス感染対策  
“3密”を回避し、手洗いの励行など新しい日常の実践に努める。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰・暴言を指導上必要と考えないので、体罰・暴言をおこなうことはない。  
生徒、保護者、外部指導員、顧問の間で共通理解を図り適切な指導をおこなう。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
命令口調での仕事分担とならないように注意する。仕事の分担を平均化し、特定の者が、過負担とならないように注意する。
- (3) 外部指導員の活用  
仕事を持っている方なので、不定期に指導にあたって下さっているが、こちらの方針を汲んで下さり、協力体制が取れている。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。
- (5) 新型コロナウイルス感染防止対策  
練習時および更衣時には3密を回避するように配慮し、生徒にもその重要性を指導する。練習隊形では2mの間隔を取ることを最優先して取り組む。ボールを

共有することからこまめに手洗いを実践する。また、熱中症にも十分気をつけ、水分補給・休憩をこまめに実践する。

4 大会等の主な記録

- 平成28年度 都立高校大会ベスト16
- 平成29年度 都立高校大会ベスト16、高体連新人大会ベスト32
- 平成30年度 府中市民大会優勝（3連覇）
- 平成元年度 都立高校大会 全都本大会2部準優勝

5 今年度の参加予定大会

大会名	日付
① 関東大会予選	4月16日
② インターハイ予選	6月11日
③ 新人大会	11月12日

6 部員数

	男子	女子	合計
1年	11	2	13
2年	7	2	9
3年	3	1	4
合計	21	5	26

7 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまった休養日	週休日の活動日数
1学期	4	生徒会主催 部活動紹介参加 関東大会東京都予選出場	中間考査時 11日 期末考査時 13日  大会終了後 4日	8日
	5	インターハイ東京都予選出場		8日
	6			6日
	7	サマーカップ出場 都立高校夏季大会出場		6日
	8			9日
2学期	9	全日本選抜大会東京都予選出場	中間考査時 11日  期末考査時 11日	6日
	10	府中市民大会出場		7日
	11	新人大会出場		8日
	12	ウインターカップ出場		6日
3学期	1	新人決勝大会出場	学年末考査時 11日	8日
	2	都立高校冬季大会出場		8日
	3	スプリングカップ出場		6日



# 令和 5 年度 体操部の指導方針等について

令和5年5月1日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「心と体の基礎力を培う」ことが出来るよう、高い目的意識と自ら実践する強い行動力を持つと同時に 思いやりと互いに助け合う心を持つ生徒
- (2) 競技大会等の目標  
高体連主催の大会において、男女とも団体上位入賞を目指し、日々練習に取り組む。文化祭での演技発表を成功させるべく、技術の向上を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域交流を図るため、他校生との合同練習会や小中学生の体験会を実施する。
- (4) 換気や手洗い、手指消毒などコロナ感染防止対策をしっかりと行い、  
安心・安全な活動を行う。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週5日間とする。  
練習時間は、平日2時間、休日4時間を基本とし、各自が長期目標・短期目標を設定し、意欲的に練習に取り組めるよう工夫する。
- (2) 練習や試合等の計画  
他校との合同練習なども企画して、より広い視野をもって、練習に取り組むことができるようにする。互いに補助し合い、安全に練習できるように努める。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識育成  
挨拶の励行・正しい言葉遣い・規則を守り他者を支えることが出来る人間になることを目指させる。
- (4) 生徒相互の人間関係  
個人スポーツではあるが、一人では何一つ練習できないことを十分理解して協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携を取って指導する。また長期休業中は、練習の前後に学校で学習する時間を設定する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により、問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

#### 4 大会等の主な記録

		大会名	結果
平成30年度	都高体連	女子3年生大会	団体総合第7位
	都高体連	男子3年生大会	団体総合第1位
	都高体連	女子1年生大会	団体総合第2位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第6位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第5位
令和元年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第2位
	都高体連	女子2年生大会	団体総合第1位
	都高体連	女子1年生大会	団体総合第4位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第3位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第3位
	都高体連	女子関東大会予選	団体総合第6位
令和2年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第2位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第3位
令和3年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第1位
	都高体連	女子3年生大会	団体総合第2位
	都高体連	女子2年生大会	団体総合第2位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第5位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第3位
令和4年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第4位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第3位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第4位

#### 5 今年度の参加予定大会

## 大会名

①	高体連	男子3年生大会	5月 7日
②	高体連	女子3年生大会	5月 3日
③	都体協	種目別大会	8月10日
④	高体連	女子2年生大会	8月26日
⑤	高体連	女子1年生大会	10月 8日
⑥	高体連	男子新人大会	11月19日
⑦	高体連	女子秋季大会	11月12日

## 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	7	3	10
2年	5	2	7
3年	3	3	6
計	15	8	23

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	生徒会部活動紹介 学年別大会へ向けて練習		4月 8日
	5	学年別3年生大会女子 (国士館大学) 学年別3年生大会男子 (国士館大学)	中間考査期間 5月15～ 5月25日	5月 7日
	6	体操部保護者会 (練習参観・指導方針・ 合宿等について説明)	期末考査期間 6月26～ 7月6日	6月 6日
	7	夏季合宿健康診断		7月 4日
	8	夏季合宿 (宿泊：府中市生涯学習センター 練習：府中西高校) 8月3～6日 合同練習会 (本校会場) 種目別大会 (未定) 学年別2年生大会 (錦城高校)	閉庁日 8月14～ 8月17日	8月 5日

2 学期	9	文化祭：演技発表	9月11・12日	9月 5日
	10	女子学年別1年生大会（錦城高校）	中間考査期間 10月12～ 10月24日	10月 4日
	11	男子新人大会（国士館大学） 女子秋季大会（錦城高校）	期末考査期間 11月27～ 12月4日	11月 7日
	12	基礎体力強化練習 冬季休業中 練習	年末 12月28～ 31日	12月 4日
3 学期	1	基本的な技から発展的な技へレベルアップ を図る練習  次年度大会に向けて、演技構成を完成 させる。	年始 1月1～4日 入選期間 1月24～26日	1月 4日
	2	各種目における技の質を高める	入選期間 2月20～26日	2月 3日
	3	新入生歓迎オリエンテーションでの 演技発表に向けての練習	学年末考査期間 2月26～ 3月7日	3月 4日

# 令和5年度 硬式野球部の指導方針等について

令和5年4月21日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
甲子園出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
毎年、東京で開催される全国定・通制軟式高校野球大会のアナウンス（ウグイス嬢）を派遣し、全国大会の運営に携わる。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
練習は、原則週に6日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間程度を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 休養日  
毎週火曜日を休養日にあてる。試験1週間前から試験終了前日までは、学業に専念させる。7月24日から7月27日、12月26日から1月5日までは完全休養とする。
- (3) 活動場所  
基本的に学校のグラウンドで活動、練習試合は他校に行って実施することもある。
- (4) 練習や試合等の計画  
月に6～8回程度、競技力を高めるため強豪チームと練習試合を行う。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (6) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策について  
手洗い、うがい、道具の消毒等、新型コロナウイルス感染症防止対策を行う。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力に

より問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

(5) 新型コロナウイルス感染症防止対策

開始時と終了時の手洗いうがいの励行。飲料は使い捨て紙コップを使用する。

4 大会等の主な記録

平成 29 年度 夏季大会初戦敗退。秋季大会ブロック予選決勝進出。

平成 30 年度 春季大会都大会進出初戦敗退。夏季大会 3 回戦敗退。

秋季大会ブロック代表 (9 年ぶり 2 回目)

秋季都大会進出

平成 31 年度 春季大会都大会進出初戦敗退。

夏季大会ベスト 16 進出。

令和 2 年度 夏季大会ベスト 32 進出。

令和 3 年度 夏季大会ベスト 32 進出。

第 15 回東村山カップ優勝

令和 4 年度 夏季大会 3 回戦進出

5 今年度の参加予定大会

	大会名	日付	
①	夏季大会	7/8～	(6/18 抽選会)
②	秋季大会	9/2 ～	(8/23 抽選会)
③	秋季都大会 (ブロック突破校)	10/7～	(10/2 抽選会)
④	春季大会	3/9～予	(2/24 抽選会予定)

6 部員数

	男子	女子	合計
1 年	7 人	0 人	7 人
2 年	8 人	2 人	10 人
3 年	10 人	0 人	10 人
合計	25 人	2 人	27 人

## 7 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまっ た休養日	週休日の 活動日数
1 学 期	4	野球部保護者会（4月22日） ／顧問紹介・指導方針の説明	4日	4日
	5		9日	2日
	6	夏季大会壮行会（6月25日）	8日	8日
	7	全国高校野球選手権大会西東京大会（7月8日～） 3年生引退試合	7日	10日
	8	夏季合宿（8月1日～8月5日）	5日	8日
2 学 期	9	秋季大会 ブロック予選（24ブロック）	4日	8日
	10	秋季大会 都大会（64チーム）	13日	4日
	11	府中西高校野球部定期総会（11月23日）	7日	8日
	12	アウト・オブ・シーズン（3月第1週まで、練習 試合禁止期間） 基礎体力強化練習 野球部父母会納会 年始挨拶の為の年賀状作り 冬季休業中強化練習	10日	4日
3 学 期	1	アウト・オブ・シーズン（3月第1週まで、練習 試合禁止期間） 基礎体力強化練習 冬季休業中強化練習	9日	6日
	2	アウト・オブ・シーズン（3月第1週まで、練習 試合禁止期間） 基礎体力強化練習	8日	6日
	3	アウト・オブ・シーズン（3月第1週まで、練習 試合禁止期間） 三送会（卒業式の日） 春季大会 ブロック予選 吹奏学部定期演奏会 応援	9日	8日

# 令和5年度 卓球部の指導方針等について

令和5年4月18日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
自ら実践する強い行動力と課題を見つけ克服するよう努力する
- (2) 競技大会等の目標  
国公立大会で優勝を目指す
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地元中学校への強化練習参加などを通し、相互に技術力を高める

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
月（2時間）・木（2時間）・土（3時間）を全体練習日とし、火・水は、  
場所が確保できないため自主練習日とする。
- (2) 練習や試合等の計画  
練習日：月・火・水・木・土  
高体連主催大会に参加。それ以外にも市民大会等オープン戦に参加
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識育成  
挨拶をする。時間を守る。片付けの徹底。
- (4) 生徒相互の人間関係  
先輩・後輩の枠を超え、交流・技術指導を生徒相互で行い、切磋琢磨する。
- (5) 学習と部活動  
考査一週間前には部活動を休止して、勉強に専念させる。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰・暴言等のない指導を徹底することについて、顧問・生徒・保護者間で共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、また同学年同士での暴力が起こらないよう指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
指導員の確保が難しく、実現できていない。

## 4 新型コロナウイルス感染症防止対策

毎朝の検温等、自己の健康管理を徹底させる。移動の時はマスクを着用するよう指導し、対外練習試合や公式戦時は、健康観察表及び保護者の同意書の提出を徹底する。また、こまめな手洗いをを行い、共用物は消毒を徹底して行う。



5 主な年間計画（参加予定だった行事を含む）

学 期	月	内 容		
1 学期	4	部活紹介・体験入部 春季大会兼関東予選【男】 春季大会兼関東予選【女】		6 日
	5	インターハイ予選【男】 インターハイ予選【女】	考查期間 (休み)	8 日
	6	インターハイ予選【男】 団体 夏季大会【女】	考查期間 (休み)	6 日
	7	合宿（7/21～25） 多摩地区大会【男】		5 日
	8	国公立大会【男女】		3 日
2 学期	9	市町村大会【男女】 全日本ジュニア予選【男】		8 日
	10	新人戦【男】 秋季大会【女】	考查期間 (休み)	6 日
	11	新人戦【女】 東京チーム大会【男女】 東京卓球選手権大会【男女】	考查期間 (休み)	6 日 3 日
	12			
3 学期	1	東経大大会 市町村大会		4 日
	2	冬季大会【女】 八王子オープン大会【男女】		5 日
	3	市町村大会【男女】 多摩ジュニア大会【男女】		4 日

# 令和5年度 ダンス 部の指導方針等について

令和5年4月28日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養うことを目標とする。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
日本高校ダンス部選手権、MUSIC DAYS 東京大会 などの各大会において関東大会以上の成績を上げることが目標とする。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域イベント(西府文化センター祭り、四谷小学校グリーンフェスティバル、府中市 みんなのスポーツ Day、よさこい in 府中)への積極的な参加。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間(平日、週休日等)  
月曜日、火曜日、水曜日、金曜日、土曜日。
- (2) 休養日
  - ・木曜日、日曜日、祝日。
  - ・各学期の定期考査1週間前より考査終了前日まで。
  - ・長期休業(春、冬)
  - ・夏季長期休業に関しては、お盆休みを設ける。
- (3) 活動場所  
中央廊下、トレーニングルーム、(外部施設については主に府中市)
- (4) 練習や試合等の計画  
各学年、年間2～3大会出場する。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
学校の決まりを守り、規範意識を徹底する。
- (6) 生徒相互の人間関係  
各学年、または学校単位として出場することから、相互理解と協調性の体得を目指す。
- (7) 学習と部活動  
日々の学習を怠らないようにし、部活との両立を図る。保護者との連携を図り指導する。  
コロナ対策のため、活動前に手洗いうがいを心がけ、一人一人が離れて活動する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、また同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることは絶対にないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

熱中症対策も万全にする。(扇風機の活用、冷房施設の利用)

(5) 新型コロナ感染防止のため、定期的な検温、体調の確認を行う。

#### 4 大会等の主な記録

平成26年度	MUSIC DAYS 東京大会	優秀賞受賞
	MUSIC DAYS FINAL 大会	LOCKY & KEIKO 賞受賞
平成27年度	MUSIC DAYS 東京大会	最優秀賞受賞
	MUSIC DAYS FINAL 大会	JEPC(日本イベントプロデュース協会)賞受賞
平成28年度	MUSIC DAYS 東京大会	優秀賞受賞 オーディエンス賞受賞
平成29年度	MUSIC DAYS 東京大会	オーディエンス賞受賞
	東京工学院テクノダンスパーク	ベストインパクト賞受賞
平成30年度	MUSIC DAYS 東京大会	優秀賞受賞(11月のFINAL大会出場決定)
	東京工学院テクノダンスパーク	ベストビジュアル賞受賞
令和1年度	MUSIC DAYS 東京大会	オーディエンス賞受賞
	高校生ダンス選手権参加	
令和2年度	MUSIC DAYS 東京オンライン大会	
令和3年度	全国高等学校ダンス部選手権	オンライン参加
	Music Days 東京大会オンライン予選通過	東京大会本戦出場
	日本高校ダンス部選手権	関東大会ビッグクラス参加
	日本高校ダンス部選手権	新人戦スモールクラス参加
令和4年度	全国高等学校ダンス部選手権	ビッグクラス参加
	Music Days 東京大会オンライン予選通過	東京大会本戦出場
	全日本チームダンス選手権大会	関東大会ビッグクラス参加
	日本高校ダンス部選手権	新人戦スモールクラス参加

#### 5 今年度の参加予定大会

	大会名	日付
①	MUSIC DAYS 東京大会	7月23日(日)
②	全日本チームダンス選手権大会	7月27、28日(木、金)
③	ダンススタジアム関東甲信越大会	8月1、2日(月、火)
④	ダンススタジアム 新人戦大会	3月末

#### 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	1	17	18
2年	1	8	9
3年	0	8	8
合計	2	33	35

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	活動開始新入生 仮入部	中間考査 1週間前～ 考査終了前日	4月 計4日
	5	作品づくり ミックスグループ分け	5/15～5/24	5月 計3日
	6		期末考査 1週間前～ 考査終了前日	6月 計4日
	7	西府文化センター祭り MusicDays 東京大会 全日本チームダンス選手権大会	6/26～7/5	7月 計3日
	8	ダンススタジアム関東甲信越大会	お盆休み 8/14～8/17	8月 計3日
2 学期	9	文化祭発表 ・引退ミーティング	中間考査 1週間前～ 考査終了日前日	9月 計4日
	10	・府中市立四谷小学校「グリーンフェスティバル」への参加 ・(府中市)「みんなのスポーツ Day」への参加	10/12～10/23 期末考査 1週間前～	10月 計4日
	11	・「MUSIC DAYS 2016 FINAL 大会」出場	考査終了日前日	11月 計4日
	12	・クリスマス公演の準備 ・クリスマス公演	11/27～12/6	12月 計4日
3 学期	1		冬休み 12/26～1/8	1月 計4日
	2		学年末考査 1週間前～	2月 計4日
	3	ダンススタジアム新人戦	考査終了前日 2/26～3/6	3月 計4日

# 令和5年度 演劇部の指導方針等について

令和5年4月22日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
一人一人が主体性をもって演劇に真摯に取り組む中で、自己表現力やコミュニケーション能力を鍛える。協同・協調の精神を養うとともに個としての批判精神を養う。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
東京都高等学校文化祭演劇部門・多摩南地区大会出場、奨励賞や優良賞の獲得
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域で開催されるワークショップ等に積極的に参加する。  
地区大会・中央大会等の運営に協力する。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
月～金（3時間程度）
- (2) 休養日
  - ・火曜日、土曜日、日曜日、祝日。
  - ・各学期の定期考査1週間前より考査終了前日まで。
  - ・長期休業(春、冬)
  - ・夏季休業に関しては、お盆休みを設ける。
- (3) 活動場所  
第三理科講義室
- (4) 練習や試合等の計画  
発声・身体訓練等の基礎訓練から、即興劇・読み合わせ・シアターゲーム等を通じ体力・表現力を養う。  
4月 新歓公演    6月 新人フェス    9-10月 文化祭・地区大会  
11月 都大会    12月 クリスマス公演    3月 卒業公演
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、時間に対する感覚の醸成、健全な服装・頭髪
- (6) 生徒相互の人間関係  
相互理解と協調性、責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動  
家庭学習時間を確保させる。
- (8) コロナ対策のため、活動前後に手洗いうがいをおこなって心掛け、換気に気をつけて活動する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、また同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることは絶対にならないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
熱中症対策も万全にする。(冷房設備の利用、給水・休憩時間の確保)
- (5) 新型コロナウイルス感染防止のため、定期的な検温、体調の確認を行う。

#### 4 大会等の主な記録

平成27年度	東京都高等学校文化祭演劇部門中央大会 優秀賞、スタッフ奨励賞
平成28年度	東京都高等学校文化祭演劇部門多摩南地区大会出場
平成29年度	東京都高等学校文化祭演劇部門多摩南地区大会出場
平成30年度	東京都高等学校文化祭演劇部門多摩南地区大会出場
平成31年度	東京都高等学校文化祭演劇部門多摩南地区大会出場
令和2年度	東京都高等学校文化祭演劇部門中央大会 優秀賞、豊博秋舞台美術賞
令和3年度	東京都高等学校文化祭演劇部門多摩南地区大会出場
令和4年度	東京都高等学校文化祭演劇部門多摩南地区大会特別出演 (新型コロナウイルス感染による出場辞退を受けて)

#### 5 今年度の参加予定大会

大会名	日付
⑤ 東京都高等学校文化祭演劇部門地区大会	9-10月

#### 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	2	2	4
2年	0	1	1
3年	4	3	7
合計	6	6	12

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	新歓公演		
	5	基礎訓練、新人デビューフェス準備		
	6 7	新人デビューフェス 作品づくり	期末考査 1週間前～ 考査終了前日	6月 計0日  7月 計0日
	8		お盆休み 8/11～8/17	8月 計0日
2 学期	9	作品づくり	中間考査 1週間前～ 考査終了日前日	9月 計4日
	10	地区大会出場		10月 計4日
	11	都大会 クリスマス公演準備	期末考査 1週間前～ 考査終了日前日	11月 計4日
	12	クリスマス公演		12月 計4日
3 学期	1 2	卒業公演準備	冬休み	1月 計4日
	3	卒業公演 新歓準備	学年末考査 1週間前～ 考査終了前日	2月 計4日 3月 計4日

# 令和5年度 写真部の指導方針等について

令和5年4月24日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養う部活動」に寄与する活動を行う。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
東京都高等学校文化祭写真部門の地区、中央大会や多摩六都高校生写真展、文化祭展示、年2回を目途に校内展示等に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
近隣地区や地域の風景を写真を通して見直し、その中にある美を追求する。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
毎週金曜日 午後3時40分から1時間30分程度  
月1回土曜または日曜 3時間程度
- (2) 休養日  
金曜日以外(ただし土曜日または日曜日に撮影会を実施する可能性あり)
- (3) 活動場所  
多目的③教室
- (4) 練習や試合等の計画  
東京都高等学校文化連盟主催の行事への参加、多摩六都高校生写真展、文化祭展示、校内展示等に取り組んでいく。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶、言葉遣い、自ら考え・判断・行動する力を育成する。
- (6) 生徒相互の人間関係  
お互いを思い遣り、写真を通してお互いの理解を高めていく。
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を目指して、家庭での学習時間を確保するよう指導する
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
部活動中にソーシャルディスタンスに留意し、換気の徹底をする。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用 現段階では計画していない。
- (4) 事故防止・安全配慮  
活動時には周囲に注意し、事故を起こさない・事故にあわないよう注意する。
- (5) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
部活動中にソーシャルディスタンスに留意し、換気の徹底と共用の機材は使用に際し消毒する。



4 大会等の主な記録

- 令和2年度 東京都高等学校写真連盟 Web 写真展  
 中央大会 3点入選、  
 多摩六都高校生写真展 20点出品
- 令和3年度 東京都高等学校文化祭地区大会 出品23点出品、入賞1点  
 中央大会 2点入選、
- 令和4年度 東京都高等学校文化祭地区大会 出品38点、  
 中央大会 3点入選、  
 多摩六都高校生写真展 22点出品

5 今年度の参加予定大会

- ①東京都高等学校文化祭写真部門地区大会  
 ②同 中央大会  
 ③多摩六都高校生写真展

6 部員数

	男子	女子	合計
1年	1	4	5
2年	5	5	11
3年	1	6	7
合計	7	15	23

7 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまった休養日	週休日活動日数
1学期	4	一斉部会 部活動の話し合い	中間考査	1日
	5	文化祭展示テーマの検討		1日
	6	東京都高等学校文化祭写真 部門地区大会応募	期末考査	1日
	7	文化祭展示作品の撮影 東京都高等学校文化祭写真 部門地区大会		1日
	8	文化祭準備		2日
2学期	9	文化祭での展示	中間考査	1日
	10	文化祭の反省 東京都高等学校文化祭写真		1日
	11	部門中央大会応募 校内展示会の実施	期末考査	1日
	12	東京都高等学校文化祭写真 部門中央大会	年末	2日
3学期	1	次年度の準備活動	年始 入選	0日
	2	多摩六都高校生写真展準備	入選	2日
	3	多摩六都高校生写真展 年間活動の振り返りと反省	学年末考査	1日

# 令和5年度 漫画研究 部の指導方針等について

令和5年4月21日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
高い目的意識と強い行動力をもって、日々努力を重ねる
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
文化祭出品等を目指して、作品発表の準備を進める
- (3) 地域貢献等の特色ある目標

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
活動は原則週3日間（月・水・金）とし、活動時間は2時間集中して行う
- (2) 休養日  
上記活動日を除き原則休養日とする。  
但し、文化祭準備期間については、部員と相談し健康面に配慮し決定する。
- (3) 活動場所  
3階 書道室
- (4) 練習や試合等の計画  
イラストや漫画の技術面だけでなく、一般的教養をも身につけることにより総合的な漫画力の向上を心がける。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉づかい、自ら進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (6) 生徒相互の人間関係  
協調性や責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保する。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
日常の活動において、マスク着用、手指消毒を行う。生徒と生徒の間隔を充分に取り、定期的に換気をする。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
行き過ぎた指導のない部活動を展開していく
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよ

う、日頃からの指導を徹底する

(3) 外部指導員の活用

部員自らが研究し、自己の内的欲求の正しい表現手段を探求するため  
現在は必要としていない。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画をたてる。

4 大会等の主な記録

特に無い

5 今年度の参加予定大会 特に無い

大会名	日付
-----	----

①

②

③

6 部員数

	男子	女子	合計
1年	1	4	5
2年	0	2	2
3年	5	0	5
合計	6	6	12

7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	生徒会部活動紹介		0 日
	5	基礎画力の鍛錬	中間考査期間 5/22~5/25	0 日
	6	基礎画力の鍛錬 読書		0 日
	7	基礎画力の鍛錬 漫画構成の練習 読書	期末考査期間 7/3~7/6	0 日
	8	文化祭準備 部誌の原稿作成 読書		0 日
2 学期	9	文化祭 部誌の発行	中間考査期間 10/19~10/24	0 日
	10	画力の向上練習 読書		0 日
	11	画力の向上練習 読書	期末考査期間 12/4~12/7	0 日
	12	卒業記念画集の作成準備	年末 12/28~12/31	0 日
3 学期	1	卒業記念画集の作成準備	年始 1/1~1/3	0 日
	2	卒業記念画集の作成準備	入選期間 1/25~27	0 日
	3	卒業記念画集の発行 新入生受入準備	入選期間 2/20~22 学年末考査期間 3/4~3/7	0 日

# 令和5年度吹奏楽部の指導方針等について

令和5年4月1日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
日々の練習において、芸術性と演奏能力の向上をはかり、本校の芸術文化に貢献すべく日々努力を重ねる。
- (2) 具体的到達目標  
年間を通して、さまざまな発表の場を設け、これを目標として演奏活動を行うことのできるレベルまで個人・パート・バンド全体のスキルアップをはかる。
- (3) 特色ある目標  
3学年が協力して活動する本校の特色を生かし、日々の練習において部員同士の信頼関係を構築するとともに、地域の音楽文化向上に貢献できる部活動をめざす。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間を基本とする。モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 発表会等の計画  
3月の定期演奏会をメインとして、7月の野球部応援、8月のコンクール、9月の文化祭演奏に加え地域の施設からの依頼演奏等に参加し発表の場を多数設ける。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
バンドとして日々練習していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう指導するとともに、練習日の設定を工夫し、部活動のない日を設けるなど学習に集中できる体制を整える。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
日々の合奏練習・セクション練習等の指導では、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

#### 4 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	入学式演奏  生徒会部活動紹介 新入生仮入部
	5	初心者講習会参加 校内で基礎練習（指導員による指導を予定）
	6	野球応援準備 コンクール曲練習（指導員）
	7	野球応援 夏季合宿
	8	コンクール曲練習（指導員） コンクール 文化祭準備
	9	文化祭における演奏会
	10	高等学校文化連盟音楽部門 地区大会参加
	11	基礎練習期間 依頼演奏等
	12	
3 学期	1	高等学校文化連盟音楽部門 中央大会参加  定期演奏会に向け練習開始 （継続的な指導員による練習を含む）
	2	合唱コンクールアトラクション演奏
	3	卒業式演奏 定期演奏会

# 令和5年度 デジタルクリエイト部の指導方針等について

令和5年4月21日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
  - ・主体的に活動をし、力量を高める。
  - ・相互に刺激し合い、共同制作を行い、協調性を養う。
- (2) 特色ある目標
  - ・個人の要望に応じたデジタルコンテンツの作成を行い、技術の向上をはかる。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間  
平日(週二回程度) 15:30～17:00 または 17:30
- (2) 休養日  
上記以外
- (3) 活動場所  
パソコン室
- (4) 練習や試合等の計画  
文化祭で作品を発表する。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
身だしなみを整え、挨拶のできる姿勢を育成する。  
地域と連携した行事を開催する。
- (6) 生徒相互の人間関係  
帰属意識を持たせ、協調性を養う。
- (7) 学習と部活動  
主体的に学習する態度を培い、部活動との両立を目指す。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
実習後はマスクの着用、手洗い・消毒を徹底する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
生徒の自主性を尊重しながら、ひとつひとつの活動に時間をかけて計画・実行・反省を生徒自身が中心となっていく。指導教員はアドバイスをする立場で接する。
- (2) 外部指導員の活動  
顧問と外部指導員の連携をとり、共通理解をはかりながら実施する。
- (3) 事故防止・安全配慮  
生徒の知識・技術にふさわしい活動内容となっているか事前に打ち合わせをしながら計画をたてる。安全・衛生面に配慮した活動を行っているかを当日顧問が確認する。

#### 4 部員数

	男子	女子	合計
1年	20	3	23
2年	17	1	18
3年	4	2	6
計	41	6	47

#### 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	仮入部 1 学期体験実習
	5	コンテンツごとのグループ分け 班長を中心に企画の検討
	6	文化祭企画の決定
	7 8	文化祭準備
2 学期	9	文化祭 2 学期制作予定検討
	10	
	11	
	12	
3 学期	1	3 学期制作予定検討
	2	各コンテンツの発表会
	3	卒業式 新歓オリエンテーション準備 新体制引き継ぎ



# 令和5年度 茶華道部の指導方針等について

令和5年 4月21日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
自他を敬愛し、思いやりの心と規範意識を育成する。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
高等学校文化連盟茶道部間主催の行事に参加する。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域の人材を指導者として迎えると共に地元主催の呈茶などの手伝いをする。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
平日(週二回程度) 15:30～17:00 または 17:30
- (2) 休養日  
上記以外
- (3) 活動場所  
B棟3F和室(茶道)・書道室(華道)
- (4) 練習や試合等の計画  
東京都高等学校文化連盟茶道部門主催の茶会への参加  
(年間で大きい茶会が数回、その他ワークショップ等)
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
身だしなみを整え、挨拶のできる姿勢を育成する。
- (6) 生徒相互の人間関係  
帰属意識を持たせ、協調性を養う。
- (7) 学習と部活動  
主体的に学習する態度を培い、部活動との両立を目指す。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
外部指導員と確認しながら感染防止対策を随時検討する。道具の使いまわしを避け、衛生環境を整える。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
顧問、外部指導員、生徒で体罰、暴言のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
本来のお茶の心得を会得し、日頃から指導する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員の役割を明確にすると共に、共通理解を図り指導をする。
- (4) 事故防止・安全配慮  
火を扱うことや、食品として口に含むものを扱っていることを普段から十分に

意識できるように指導する。

(5) 新型コロナウイルス感染防止対策

外部指導員と確認しながら感染防止対策を随時検討する。道具の使いまわしを避け、衛生環境を整える。

4 大会等の主な記録

令和元年度	高文連茶道部門生徒リーダー研修会参加 東京国立博物館主催「銘々皿の絵付け」に参加 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 1000日前イベント参加 高文連茶道部門中央大会 「冬の茶会」参加(東京国立博物館)
令和2年度	高文連茶道部門中央大会 「冬の茶会」 新型コロナウイルス感染症拡大のため、オンラインにて参加
令和3年度	第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 関プレ大会 参加
令和4年度	第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 事前研修会 参加 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 参加

5 今年度の参加予定大会

大会名	日付
東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会	12月下旬

6 部員数

	男子	女子	合計
1年	0名	2名	2名
2年	0名	2名	2名
3年	0名	4名	4名
合計	0名	8名	8名

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	一斉部会	中間考査期間	
	5	高文連総会		
	6		期末考査期間	
	7	茶道部門生徒リーダー研修会 東京国立博物館ワークショップ 東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会「冬の茶会」事前研修会		
8	全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演お手伝い参加 文化祭向け練習			
2 学期	9	文化祭（呈茶）花の展示	中間考査期間	
	10	東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会 「冬の茶会」事前研修会 東京大茶会		
	11		期末考査期間	
12	東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会 「冬の茶会」			
3 学期	1			
	2			
	3	卒業記念茶会		

# 令和5年度 ホームメイキング部の指導方針等について

令和5年4月21日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
  - ・主体的に活動をし、達成感を得る。
  - ・仲間と協力して制作し、絆を深める。
- (2) 特色ある目標
  - ・洋服や小物などの作成を通じ、技術の向上をはかる。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間  
平日(週二回程度) 15:30～17:00 または 17:30
- (2) 休養日  
上記以外
- (3) 活動場所  
被服室・食物室
- (4) 練習や試合等の計画  
文化祭で作品を発表する。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
身だしなみを整え、挨拶のできる姿勢を育成する。  
衛生面に配慮し、エプロン・三角巾着用、清掃・手洗い等を徹底する。
- (6) 生徒相互の人間関係  
帰属意識を持たせ、協調性を養う。
- (7) 学習と部活動  
主体的に学習する態度を培い、部活動との両立を目指す。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
調理実習はマスクの着用、手洗い・消毒を徹底する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
生徒の自主性を尊重しながら、ひとつひとつの活動に時間をかけて計画・実行・反省を生徒自身が中心となっていく。指導教員はアドバイスをする立場で接する。
- (2) 外部指導員の活動  
顧問と外部指導員の連携をとり、共通理解をはかりながら実施する。進路指導も兼ねているため、一部の学校に偏ることなく依頼する。
- (3) 事故防止・安全配慮  
生徒の知識・技術にふさわしい活動内容となっているか事前に打ち合わせをしながら計画をたてる。安全・衛生面に配慮した活動を行っているかを当日顧問が確認する。

#### 4 部員数

	男子	女子	合計
1年	1	14	15
2年	0	3	3
3年	0	5	5
計	1	22	23

#### 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	仮入部 1 学期制作予定検討
	5	小物の作成 文化祭企画の検討
	6	文化祭企画の決定
	7 8	文化祭準備
2 学期	9	文化祭 2 学期制作予定検討
	10	
	11	
	12	
3 学期	1	3 学期制作予定検討
	2	三送会準備
	3	卒業式 新歓オリエンテーション準備 新体制引き継ぎ